



ひろせ けいすけ 広瀬 慶輔です No.4

夜寒が身にしみる頃になりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

先月全国を襲った台風19号。幸い本市は大きな被害はありませんでしたが、23万人が住む中核市の行政を預かる責任の重さを再確認しました。被災地では、復旧に相当な時間を要するでしょう。一日も早い生活再建をお祈りします。

全国から寝屋川市が注目

10月1日からの「完全フレックスタイム制」の取材で、MBSの西靖アナウンサーが市役所を訪れ、対談させていただき、その「声」の質の高さに驚かされました。一言一言の発音や、相槌を打つタイミングなど「伝える」「聴く」というプロの技を肌で感じることができました。



子どもたちから元気を

秋と言えばスポーツ。私は、中学校の体育大会に一日で9校回らせてもらいました。各校短い滞在時間でしたが、子どもたちの真剣に競技に取り組む姿に、元気をもらおうと同時に、子どもたちを「守る」「育てる」という使命を改めて感じました。子どもたちが何より笑顔でいられるように。広瀬動きます。

大阪スマートシティ 戦略会議に出席

吉村府知事の主催する会議にゲストスピーカーとして、市公式アプリを中心とした今後のICTの活用事例を紹介しました。吉村知事とは初対面でしたが、「現場のニーズに答える仕組みや、コストを抑えた最大のサービスを行うことに注力されている。ICTを活用して住民が少しでも便利になるよう、寝屋川市の最先端の取り組みを他の市町村に横展開できれば」とコメントをいただきました。今後もアプリなどICTを活用し、住民サービスの向上につながる施策を進めていきます。



一問一答ピックアップ！タウンミーティングから

8月から9月にかけて、計6か所でおこなった「広瀬市長に本音で言い対話」は、計403人もの皆さんに参加いただきました。意見については、今後の市政に生かしていきたいと思います。

自治会など地域活動の担い手が減ってきている。



現在活動されている方も高齢化してきているので、活動内容を精査するなど、これからのことを考えていきます。



小中一貫校ってすごいのか？



施設一体としては、公立学校ではまだ珍しい取り組みです。市外の若い世代に市の魅力的な教育をアピールするためのメインアイコンとして位置付けています。

あふたーわーど

Afterword

10月の人事異動で、広報誌の編集から心ならずも離れることになった。「むつかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをゆかひに、ゆかいなことをまじめに書く(井上ひさし)」。肝に銘じたい。ありがとう広報ねやがわ。



市公式アプリ
もっと寝屋川



市フェイスブック



市ツイッター

iOS用

Android用



市ホームページ



市 YouTube
公式チャンネル

